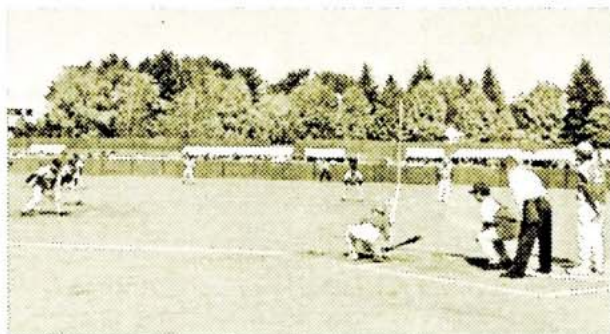


# みんなdeスポーツ! わが町の取り組み

⑧

岩手県

本県では今年10月に、東日本大震災復興の架け橋、第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」、第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」が「広げよう感動。伝えよう感謝。」のスローガンの下、開催された。この大会には、県内特別支援学校全16校の幼児、児童・生徒も参加した。選手としての参加の他に、開会式前演技での宮澤賢治の「雨ニモマケズ」の暗唱、希望郷いわて大会開会式のアナウンサー、各競技会場で作業学習などの製品販売を



グラウンドソフトボールの試合①  
と、希望郷いわて大会解団式②

## 全国大会のレガシーを継承・発展

行った。そして、来県選手への応援メッセージカード作成、歓迎のぼり旗作成、プランター花壇づくり、開閉会式や各競技の観戦など、いろいろな形での参加を通じて多くの交流が生まれ、互いの絆を深めることができた。

県内の障害者スポーツの取り組みとしては、「岩手県障がい者スポーツ大会」の他、平成15年から知的障害教育校高等部生徒が参加する岩手県特別支援学校スポーツ交流大会の開催などが挙げられる。部活動では、盛岡

視覚支援学校のグラウンドソフトボール部やフロアバレーボール部、盛岡聴覚支援学校の陸上部、盛岡峰南高等学校のバスケットボール部などが東北大会や全国大会を目指して練習に励んでいる。

また、既存のグラウンドソフトボール、知的障害フットベイスボール・バスケットボールの他、5、6年前から聴覚障害バレーボール、知的障害バレーボール・ソフトボール・サッカーなどのチームが新たに結成され、「希望郷いわて大会」には特別支援学校の生徒も多数出場した。

今大会のレガシーを継承・発展させることで障害者スポーツの普及や特別支援学校のスポーツ活動への理解がさらに推進されることを期待している。

(民部田誠・岩手県立盛岡視覚支援学校校長)